



## 放射線サーベイ要員

高松赤十字病院 診療放射線技師 藤原 直人

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故の救援活動の一環として、私は日本放射線技師会からの派遣依頼により4月13日から17日にかけて、福島県田村市総合体育館にて被災者の放射線被ばくサーベイ活動に従事しました。

主な活動内容は私を含む診療放射線技師4名で会場を統括し、そこでの専門的な回答や対応を行うというものでした。会場建物内でのサーベイは電気事業連合会からの派遣約25名に担当してもらい、屋外での測定などについてはより柔軟な対応が必要になるため、我々、診療放射線技師が担当しました。

サーベイの方法はGM（ガイガー・ミュラー）計数管型サーベイメーターを使用し、物の表面に付着した放射性物質から出る放射線を測定します。活動期間中に除染が必要なレベルの測定値が検出されることはありませんでしたが、幼い子供の身の回りの物の測定をはじめ、大切な人への放射線の影響を少しでも減らそうと努力する人々の姿に、現状への憤りを感じました。

今回、サーベイを終えた被災者の皆様から感謝の言葉をかけていただくことも多く、診療放射線技師として大変貴重な経験をさせていただきました。被災地のできるだけ早い復興を祈りつつ、地域へのより安全な医療の提供にこの経験を活かせるよう努めたいと思います。

